

## マルコの福音書 15:40-16:8 復活が赦しをもたらす

今日はイースターです。お祝いの日です。ですが、マルコの福音書には、復活の場面が少し唐突に描かれていて、お祝いムードとは言いにくい雰囲気があります。ただ、そこにある限られた言葉には、今を生きる私たちにとって、永遠に響き続ける重要な意味があります。それは、復活がもたらすものが、キリストに従う一人一人にとって希望を見だし、それを持ち続けるために欠かせないものであり、また、人々がそれを見つめ直して、なぜそれが大切なのかを考えるためにも必要なものだからです。ですが、復活について見る前に、今どのような状況にあるのかをおさらいしておきましょう。先週はキリストの死について学びました。数時間の静かな苦しみした後、イエスはマルコの福音書 15:34 で「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。」訳すと「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」と叫ばれました。そして 37 節に「イエスは大声をあげて、息を引き取られた。」とあります。その苦しみの根本は、イエスが自ら背負われた罪にありました。皆さんも私も、人間として生まれたゆえに、創造主への背きの中に生まれた罪人です。聖書はローマ 3:23 で私たちについて「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず」と述べています。だからイエスは十字架にかけられたのです。1ペテロ 2:24 は明確にこう言っています。「キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。」ですが、福音とは、あなたが罪人で、あなたのためにイエスが死んでくださったということにとどまりません。あなたが罪人で、イエスはあなたのために死んでくださり、そして再びよみがえられました。ですから、使徒パウロは1コリント 15:3-4 でこう言っています。「私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、4 また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと」つまり、復活は福音の一部なのです。ですから、どの福音書の筆者も復活の事実を記している、マルコも例外ではありません。

イエス・キリストの復活についての記述において特徴的なのは、復活の目撃者として女性が大きく取り上げられていることです。マルコの福音書においてはこれが特に顕著です。今日の聖書箇所であるマルコ 15:40-16:8 を読み始めると、このことを見ることができます。イエスの死の直後の出来事を 40 節から読みましょう。「**女たちも遠くから見ていたが、その中には、マグダラのマリアと、小ヤコブとヨセの母マリアと、サロメがいた。41 イエスがガリラヤにおられたときに、イエスに従って仕えていた人たちであった。このほかにも、イエスと一緒にエルサレムに上って来た女たちがたくさんいた。**」この書の終わりに近づいた、この個所の中心は死と、それ以上に復活であります。ではなぜ、イエスにずっと従ってきた女性たちについてこのように具体的に記されているのでしょうか。明確な理由が二つあります。一つは、女性が当時の社会で重んじられていなかったからです。それを理由とすることは奇妙に思えるかもしれませんが、イエスの復活の事実が含まれる福音の真実を読み手に証明することは、福音書と新約聖書の目指すことの一つです。そのためには、復活の事実について信頼できる証人を立てることが一つの手でした。もしイエスの復活の物語が、人々を惑わすために作られた作り話に過ぎないとすれば、最も信頼できる証人を物語の中に登場させることを選んだことでしょうか。弟子として漁師を登場させるのではなく、宗教家や政治家を登場させたでしょう。また、復活の最初の証人として、間違いなく男性を選んだことでしょうか。ですが、復活の物語は真実であり、単に説得力をもって作り上げられた物語ではありません。だからこそ、復活について最も説得力のある要素の一つは、神が最初の証人を、裁判で証言をすることすらできない、社会的な地位を持たなかった女性とされたことなのです。社会的に女性の地位は低く、証人として法廷に立つことはできませんでした。ですが、イエスの宣教の大部分に従ってきた女性たちは、救い主が死ぬのを見届け、その復活を最初に知ることになりました。また、イエスの宣教を通して明らかになった事実がもう一つあります。それは、イエスがご自分の周りにはいる女性たちの地位を引き上げられたということです。現代社会においても、女性は男性よりも低くみられることがあります。ですが、男性信徒の皆さん、イエスに従う者であるためには、自分の妻や他の女性を低いもの、劣った存在とみなすので

なく、イエスがご自分に従う者たちの中で女性たちを敬ったように、我々も敬うべきです。エペソ 5:25 で聖書が「夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を献げられたように、あなたがたも妻を愛しなさい。」と言っているようにです。イエスは女性たちのため、ご自分に信仰をおくすべての人たちへの愛ゆえに、教会のために死なれ、全てを犠牲にされました。このように夫は妻に接するよう招かれているのです。

けれど、女性たちに焦点が当てられたのには二つ目の理由があります。彼女たちを証人とするためには、彼女たちがイエスをよく知っており、イエスを疑いなく確認できたことが明らかでなくてはなりません。マグダラのマリアともう一人のマリアが、宣教の間も十字架刑にもずっとイエスに付き従い、イエスの世話をしていたという事実があったからこそ、彼女たちが間違いなくイエスを確認できることが分かります。その彼女たちがイエスが死ぬのも、よみがえられたのも見たというのですから、イエスをよく知っていた彼女たちの証言は真実であると言えます。イエスをそれほどよく知っている人が、他人がイエスのふりをしていて騙されることはあり得ないでしょう。また、彼女たちはイエスが実際に死ぬのを目撃していました。イエスの復活の直後にも、イエスが本当に死んだわけではなく、気を失ったのだという噂を広める人たちがたくさんいました。つまり、実際は死からよみがえったわけではないというのです。それはローマの十字架刑ではありえないことでしたが、もし何らかの疑いがあったとしても、マルコは復活の最初の目撃者がイエスが死なれるのをしっかりと見ていたことを確認しています。そして、次に起こる出来事の中で、彼女たちが復活の証人となるために何を見たのかというとても重要な点を見ます。

42-47 節を読みましょう。「42 さて、すでに夕方になっていた。その日は備え日、すなわち安息日の前日であったので、43 アリマタヤ出身のヨセフは、勇気を出してピラトのところに行き、イエスのからだの下げ渡しを願い出た。ヨセフは有力な議員で、自らも神の国を待ち望んでいた。44 ピラトは、イエスがもう死んだのかと驚いた。そして百人隊長を呼び、イエスがすでに死んだのかどうか尋ねた。45 百人隊長に確認すると、ピラトはイエスの遺体をヨセフに下げ渡した。46 ヨセフは亜麻布を買い、イエスを降ろして亜麻布で包み、岩を掘って造った墓に納めた。そして、墓の入り口には石を転がしておいた。47 マグダラのマリアとヨセの母マリアは、イエスがどこに納められるか、よく見ていた。」さて、マルコは、イエスが十字架から墓までどのように運ばれたかを詳しく説明しています。それに関わったのは驚くべき人物でした。アリマタヤのヨセフは、イエスの死を求めた最高法院の一員でした。ここから明らかなのは、深夜に大祭司の家で行われた最初の裁判に、最高法院のメンバー70人全員が出席していたわけではなく、少なくとも一人は最高法院の行いに反対していた可能性が高いということです。ヨセフは真に神に従いと願う誠実な人であったようで、キリストを密かに信じていたのかも知れません。少なくともキリストを尊敬していました。ピラトは遺体を彼に下げ渡しました。ですが、ピラトはイエスがそんなに早く死に至ったことに驚き、まず十字架刑を執行した百人隊長に確認しました。この百人隊長は、先週読んだ箇所です。イエスを信じ、イエスを子なる神として信じる最初の信者となった人です。さて、おそらくほとんどの皆さんがご存じのように、この墓は岩の中に掘られたもので、入り口に石が置かれたなら、そこから出ることは人間的に考えると不可能だったと思われま。置かれた石は非常に重たいというえに、マタイの福音書によれば、ピラトは遺体が盗まれないようにとローマ兵を墓の前に置いたと記されています。しかし47 節では、この埋葬についてとても重要な事実が記されています。同じ二人の女性「マグダラのマリアとヨセの母マリアは、イエスがどこに納められるか、よく見ていた。」とあります。イエスの宣教と死のすべてにおいて、彼女たちはその場でイエスを見、知り、イエスに従ってきたのです。そして今、イエスの復活の最初の証人になることによって、イエスに従うことの最高の報酬を得たのです。

それでは次に、16:1-8 の復活の日について見ていきましょう。「さて、安息日が終わったので、マグダラのマリアとヤコブの母マリアとサロメは、イエスに油を塗りに行こうと思い、香料を買った。2 そして、週の初めの日の早朝、日が昇ったころ、墓に行った。3 彼女たちは、「だれ



が墓の入り口から石を転がしてくれるでしょうか」と話し合っていた。4 ところが、目を上げると、その石が転がしてあるのが見えた。石は非常に大きかった。5 墓の中に入ると、真っ白な衣をまとった青年が、右側に座っているのが見えたので、彼女たちは非常に驚いた。6 青年は言った。「驚くことはありません。あなたがたは、十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのでしょうか。あの方はよみがえられました。ここにはおられません。ご覧なさい。ここがあの方の納められていた場所です。7 さあ行って、弟子たちとペテロに伝えなさい。『イエスは、あなたがたより先にガリラヤへ行かれます。前に言われたとおり、そこでお会いできます』と。」8 彼女たちは墓を出て、そこから逃げ去った。震え上がり、気も動転していたからである。そしてだれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである。」再び二人の女性が登場します。マリアとマリアが死の臭いを遠ざけ、自分たちの主を偲ぶために埋葬用の香料を携えて墓に置かれた遺体のところにやってきました。墓の前の大きな石をどうしたものかとごく当たり前の心配をされていて、そこに彼女たちの関心もありました。自分たちの友が墓の中にいないなどとは考えてもいなかったでしょう。ですが、墓に到着した彼女たちは、他の福音書の記述からわかっていますが、み使いからのメッセージを受け取ります。6 節にあるそのメッセージは世界中で最も素晴らしいメッセージでした。「驚くことはありません。あなたがたは、十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのでしょうか。あの方はよみがえられました。ここにはおられません。」彼女たちはイエスが死なれたことの直接の目撃者でした。彼女たちは、ガリラヤでイエスや弟子たちと共に過ごし、イエスの生涯における最後の一週間にエルサレムで起こった出来事を通して、イエスのことをよく知っていました。イエスが死なれたと完全に信じていましたが、同時にイエスこそが自分たちのメシア、救い主であることも信じていました。マルコは復活と復活後の出来事について、他の福音著者たちほど詳しくは記していません。ですが、この女性たちを通して、私たちが知るべきことを明確に伝えています。マルコは福音書の冒頭 1:1 で「神の子、イエス・キリストの福音のはじめ。」と私たちに語り始めます。そして福音書の中で、イエスがキリストであること、旧約聖書で神の民を救いに来ると預言されていたメシアであることを示します。人々は自分たちを救うために来られた方がどのようにそれを成して下さるのか必ずしも認識しておらず、自分たちの罪のために死ぬために来られた霊的な救い主よりも政治的な救世主を望みました。それでも、この女性たちのようなご自身に従う者たちに決してその真実を隠されることはありませんでした。そして、イエスが世の罪をその身に負って死なれる様を通して、イエスが真に肉なる神、御子なる神であるという、マルコの目的のもう一つの部分を、百人隊長がついに認識したのです。イエスが死なれるとき、「この方は本当に神の子であった。」というマルコ 15:39 にある宣言をついに目にします。唯一残ったのは、イエスが神の御子であるという事実を、イエスが死んだままでなかったことで示すことでした。そこでマルコは、イエスが死んだままではなく死からよみがえったという事実を、とてもささやかではあるものの、明らかに信頼できる証人であるこの二人の女性を通して私たちに示しているのです。これこそが要です。福音の真理を証明し、宣言する上で最も重要な点です。つまり、イエスをご自分で宣言した通りの方で、私たちの罪を負ってイエスが行ってくださったと聖書が宣言していることを行うことができる方であるということです。ローマ 1:3-4 はイエスの死はイエスが神であることを示していると語っています。「御子に関するものです。御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ、4 聖なる霊によれば、死者の中からの復活により、力ある神の子として公に示された方、私たちの主イエス・キリストです。」

ですが、マルコの復活の記述には、イエスの復活について、特にこの福音書ならではの、小さな詳細が記されています。それは、7 節でみ使いが女性たちに与えた指示の中にあります。み使いは言います。「さあ行って、弟子たちとペテロに伝えなさい。『イエスは、あなたがたより先にガリラヤへ行かれます。前に言われたとおり、そこでお会いできます』と。」マルコの福音書は、イエスがどのようなお方であり、どのようにしてイエス・キリストに従うようになったのかについてペテロが語った内容を記したものであることを覚えておられるでしょうか。この福音書を読んだ最初の信徒たちが、初代教会の最も偉大な使徒として認識していたのはペテロでした。ですが、私たちが最後に見たペテロの姿は、イエスを知っている事さえ否定している姿でした。

マルコ 14:72 では、このように記されています。「するとすぐに、鶏がもう一度鳴いた。ペテロは、「鶏が二度鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言います」と、イエスが自分に話されたことを思い出した。そして彼は泣き崩れた。」ペテロは従う者として失格者でした。ユダではなかったものの、聖書の中にペテロのことを二度と読むことがなくなったとしても誰も驚かなかったことでしょう。ですが、使徒の働きを読むと、ペテロはイエスが御国に戻られた後に救われた使徒パウロとともに、福音を広め、全世界に教会を広める二人の中心的な使徒となったことが分かります。それは、復活された主イエス・キリストがペテロに自分と会うようにとメッセージを送ったからこそ可能になりました。そして、ヨハネの福音書で分かるように、その再開によって関係が完全に回復し、ペテロの失敗に対する明確な赦しをもたらされました。主にのみ赦しがある。これがイエス・キリストの死と復活における福音のメッセージです。ペテロはイエスに対して、神ご自身に対して罪を犯しました。ですが、十字架に架かれたとき、イエスはその罪を自ら負ってくださいました。鞭の打たれた跡の一つ一つ、釘打つ槌の一振り一振りを、ペテロに対する神の怒りを負ってくださいましたのです。だから今、イエスは赦しをもってペテロに呼びかけることができたのです。キリストはご自分に従う者一人一人のためにそのようにしてくださったのです。自分の罪を認め、悔い改め、イエスを主であり救い主として受け入れるすべての人に、イエスはペテロが経験したのと同じ赦し、同じ神との関係の回復を与えてくださいます。そして、この書の終わりにその信じられないようなメッセージを聞いて恐れた女性たちは、イエスに直接会い、弟子たちにイエスが生きておられることを伝えます。その後のことは皆さんも知っておられる通りです。この教会も世界中にある教会も、その後生涯にわたってこのお方のことを証し続けた、この女性たちとペテロの証人です。そのお方とは、私たちが罪から解放され、永遠の命の望みを知ることができるようにと死からよみがえられた、神であり人であるイエス・キリストです。最初に、復活がもたらすものが、キリストに従う一人一人にとって希望を見だし、それを持ち続けるために欠かせないものであり、また、人々がそれを見つめ直して、なぜそれが大切なのかを考えるためにも必要なものだとお話ししました。この世のすべての人にとってこれは重要なことです。なぜなら、この世には自分が救い主だと主張するものが多くいますが、一人を除いてその全員が墓に眠っているからです。イエスの生涯、死と復活は、イエスに従う者となったすべての人の人生を変えました。ペテロは失敗したものの赦され、イエスに従う者となった漁師でした。あなたもペテロのように失格者で罪人ですが、同じように赦していただけます。信徒の皆さん、あなたが失敗するとき、それでも自分がイエスに従う者であり、イエス・キリストが死んでよみがえられたのだから、赦されている者であることを忘れないでください。祈りましょう。

## Mark 15:40-16:8 The resurrection brings forgiveness

Today is Easter. It is a day for celebration! But the Gospel of Mark has a very abrupt and in a way less celebratory account of the resurrection. But what it says in a few words resonates into eternity with significance for us today. Because what comes in the resurrection is necessary for each follower of Christ to hold onto and find hope in and for each human to look at and ask why it is so significant. But before we get into the resurrection, let's set the stage for where we are at. Last week we ended our study with Christ's death. After hours of silent suffering, Jesus cried out in verse 34 of Mark 15, "Eloi, Eloi, lema sabachthani?" which means, "My God, my God, why have you forsaken me?" and then we read in verse 37, And Jesus uttered a loud cry and breathed his last. The primary source of his suffering was the sin that he was taking on himself. You and I by reason of being born as humans are sinners who are born in rebellion to our creator. The Bible describes all of us by saying in Romans 3:23, for all have sinned and fall short of the glory of God. This is why Jesus was hanging on the cross. 1 Peter 2:24 clearly states, He himself bore our sins in his body on the tree, that we might die to sin and live to righteousness. By his wounds you have been healed. But the gospel is not just, you are a sinner and Jesus died for you. It is you are a sinner and Jesus died...AND ROSE AGAIN... for you. So the Apostle Paul writes in 1 Corinthians 15:3-4, 3 For I delivered to you as of first importance what I also received: that Christ died for our sins in accordance with the Scriptures, 4 that he was buried, that he was raised on the third day in accordance with the Scriptures... So, the resurrection is part of the gospel! And for that reason, every gospel writer includes the fact of the resurrection in their gospel, and Mark is no different.

And what is unique about each account of the resurrection of Jesus Christ is the way that women feature so prominently as witnesses to the resurrection. And with Mark that is even more so. This is what we see when we begin our passage today Mark 15:40-16:8. Let's begin reading what happens right after Jesus's death starting in verse 40.

<sup>40</sup>There were also women looking on from a distance, among whom were Mary Magdalene, and Mary the mother of James the younger and of Joses, and Salome. <sup>41</sup>When he was in Galilee, they followed him and ministered to him, and there were also many other women who came up with him to Jerusalem. The point of this passage is the death and more so the resurrection as we near the end of the book, so why this specific mention of the women who had followed him the entire time? There are two clear reasons why this is true. **One, women were not respected in society.** Now this probably seems a strange reason to highlight them then, but one of the goals of the gospels and the New Testament is to prove to readers the truth of the gospel that includes the fact of Jesus's resurrection. One of the ways to do that is to provide competent witnesses to the fact of the resurrection. If this story of Jesus's resurrection was just a human fiction made up to mislead people, you would choose to include in the story the most believable witnesses of all. Rather than fisherman as disciples, you would have the religious and political members of society. And you would definitely have men being the first witnesses to that resurrection. But the story of the resurrection is one of truth, not one simply made up and shaped to convince. So one of the most convincing elements of the resurrection is that God made the first witnesses women who did not even have standing in society to testify in a trial. Socially, women were of such low status their witness was not accepted in court, but these women who had followed Jesus most of his ministry now watched their Savior die and will be the first to know his resurrection. And there is one other fact that becomes clear through Jesus's

ministry...he raised the level of the women around him. Even now in some ways, women are put at a lower level than men in our society. But Christian man, to be a follower of Jesus, you don't treat your wife, or other women as lower or less than, you honor them as Jesus did among his followers. To put it like Scripture does in [Ephesians 5:25](#), [Husbands, love your wives, as Christ loved the church and gave himself up for her...](#) Jesus has just died for his church, sacrificed everything, out of love for these ladies and everyone who puts their faith in him. That is how husbands are called to treat wives.

But there is a second reason for this extended focus on these ladies. **In order to have them witness the resurrection, it has to be clear that they knew Jesus well and would have recognized him beyond any shadow of doubt.** By setting up the event with the fact that Mary Magdalene and the other Mary had followed Jesus all through the events of the crucifixion and his ministry in Galilee and had personally taken care of him, we know that they can definitely recognize him without a doubt. So when they see him die, and then we are told they see him risen, there is no doubt this testimony would be true because they know him so well. It is unlikely that someone who knew Jesus this well would ever be fooled into thinking someone else was pretending to be Jesus. And they also had to see him actually die. There were plenty of people who were putting out rumors even right after Jesus's resurrection that Jesus perhaps did not really die, but fainted. So, he didn't actually rise from the dead. This is really an impossibility in Roman crucifixion, but if there is any doubt, Mark makes sure that the first witnesses to the resurrection have clearly seen him die. But in the events that come next we will see the next part of what they see that is crucial to them being witnesses to the resurrection.

Let's read verse 42-47. **<sup>42</sup> And when evening had come, since it was the day of Preparation, that is, the day before the Sabbath,<sup>43</sup> Joseph of Arimathea, a respected member of the council, who was also himself looking for the kingdom of God, took courage and went to Pilate and asked for the body of Jesus. <sup>44</sup> Pilate was surprised to hear that he should have already died.<sup>[e]</sup> And summoning the centurion, he asked him whether he was already dead.<sup>45</sup> And when he learned from the centurion that he was dead, he granted the corpse to Joseph. <sup>46</sup> And Joseph<sup>[f]</sup> bought a linen shroud, and taking him down, wrapped him in the linen shroud and laid him in a tomb that had been cut out of the rock. And he rolled a stone against the entrance of the tomb. <sup>47</sup> Mary Magdalene and Mary the mother of Joses saw where he was laid.** Mark gives us now the details of how Jesus gets from the cross to the grave. And the man involved is surprising. Joseph of Arimathea was a part of the Sanhedrin that called for Jesus's death. What is clear from the events is that it is likely not all 70 members of the Sanhedrin were actually present at his first trial late at night at the High Priest's house, and at least one was against the actions of the council. Joseph seems to have been a Godly man who really wanted to follow God, and may have been a secret believer in Christ. At the very least he respected him. So, Pilate gave him the body. But Pilate is surprised that Jesus is dead so soon, so he checks first with the centurion in charge, who has supervised the crucifixion and as we saw last week has actually believed in Jesus and become the first true believer in Jesus as God the Son. Now, as most of you probably understand, this tomb is inside rock and would have been impossible in human terms to leave once the stone was placed in front. It was extremely heavy and we find out in the gospel according to Matthew that Pilate even put Roman guards in front of it, so the body would not be stolen away. But then verse 47 tells us the most important fact about this burial to the events here in Mark. Those same two ladies, **Mary Magdalene and Mary the**



mother of Joses saw where he was laid. Every step of the way in Jesus's ministry and death, these ladies have been there to see and know and follow Jesus. And we see them now have the greatest reward of following Jesus by becoming the first witnesses to His resurrection.

So, we now turn towards the day of resurrection itself in chapter 16, verses 1-8.

**16** *When the Sabbath was past, Mary Magdalene, Mary the mother of James, and Salome bought spices, so that they might go and anoint him. <sup>2</sup>And very early on the first day of the week, when the sun had risen, they went to the tomb. <sup>3</sup>And they were saying to one another, "Who will roll away the stone for us from the entrance of the tomb?" <sup>4</sup>And looking up, they saw that the stone had been rolled back—it was very large. <sup>5</sup>And entering the tomb, they saw a young man sitting on the right side, dressed in a white robe, and they were alarmed. <sup>6</sup>And he said to them, "Do not be alarmed. You seek Jesus of Nazareth, who was crucified. He has risen; he is not here. See the place where they laid him. <sup>7</sup>But go, tell his disciples and Peter that he is going before you to Galilee. There you will see him, just as he told you." <sup>8</sup>And they went out and fled from the tomb, for trembling and astonishment had seized them, and they said nothing to anyone, for they were afraid.* Now we see these two ladies again, as Mary and Mary come to what they think is a body in a tomb in order to add burial spices to the wrappings to keep the smell of death away and honor their Lord. And they have the natural concerns of this large stone that is covering the front of the tomb, and that is where their focus is. There is no thought that their friend they saw die would not be in the tomb. But then they arrive at the tomb and receive a message from what we know from other gospels is an angel, and that message is the greatest message in the world in verse 6! **"Do not be alarmed. You seek Jesus of Nazareth, who was crucified. He has risen; he is not here.** These ladies are first hand witnesses that Jesus had indeed died. They knew him well because they had spent time with him and his disciples in Galilee and all the way through the events in Jerusalem the last week of his life. They fully believed that Jesus was dead, but they also believed that he was their Messiah, their Savior. Mark doesn't give us nearly as many details about the resurrection and the events of the resurrection after it happens as what the rest of the gospel writers do. But he gives us through these ladies exactly what we need to know. Mark began his gospel by telling us in [Mark 1:1](#) that he was sharing with us, **"The beginning of the gospel of Jesus Christ, the Son of God."** Over the course of the book he has shown that Jesus is the Christ...he is the Messiah, prophesied in the Old Testament to come save God's people. Now the people he came to did not always recognize how he would save them, and would have preferred a political rather than a spiritual Savior, sent to die for their sins, but Jesus never hid that truth from his followers which these ladies were. And then through how he died, as he took the sin of the world on himself, finally the Centurion recognized the other part of Mark's goal that Jesus was indeed God in the flesh, the Son of God. As he dies, we finally see the declaration in [Mark 15:39](#), **"Truly this man was the Son of God!"** The only thing that remains is to prove his deity, the fact that he is God the Son by not staying dead. And so Mark gives us with very small detail, but clear trustworthy witnesses, in these two ladies, the fact that Jesus did not stay dead, but rose from the dead. This is the lynchpin...its the most important aspect of proving and declaring the truth of the gospel – that Jesus is who he claims to be and can do what the Bible declares that he did by taking our sin on himself. [Romans 1:3-4](#) tells us that his resurrection declared him to be God... **3 concerning his Son, who was descended from David according to the flesh 4**

[and was declared to be the Son of God in power according to the Spirit of holiness by his resurrection from the dead, Jesus Christ our Lord...](#)

But there is one little fact given in Mark's account of the resurrection that is extremely pertinent to this particular gospel and to the resurrection of Jesus. It is in the instructions given to the ladies by the angel in verse 7. He tells them, **7 But go, tell his disciples and Peter that he is going before you to Galilee. There you will see him, just as he told you.** Remember that the book of Mark is Peter's account of who Jesus is and how he became a follower of Jesus Christ. Peter is the one who the first Christians who read this gospel would recognize as the one of the greatest Apostles of the early church. But the last time we saw Peter, he had denied he even knew Jesus. [Mark 14:72](#) is where we see him, and it tells us, **72 And immediately the rooster crowed a second time. And Peter remembered how Jesus had said to him, "Before the rooster crows twice, you will deny me three times." And he broke down and wept.** Peter was a failed follower. He wasn't Judas, but it would not have surprised anyone if we never again read about him in the Bible. Instead, as we read in the book of Acts, we see that Peter along with the Apostle Paul who is saved after Jesus's return to Heaven become the two primary apostles to begin and spread the gospel and thus the church throughout the known world. It only happens because a risen Lord Jesus Christ sent a message specifically to Peter to meet him. And at that meeting as we read in the book of John, there is a complete restoration of the relationship and clear forgiveness for his failure. This is the message of the gospel in the death and resurrection of Jesus Christ – that there is forgiveness for each of found in him alone. Peter had sinned against Jesus, against God himself, but Jesus took that sin on himself when he died on the cross and with every mark of the whip, and every hammer of the nails, he bore the wrath of God against Peter's sin. So, he could now call out to Peter with forgiveness. He has done this for each follower of Christ. For each person who recognizes and repents of their sin and accepts Jesus as Lord and Savior, he offers the same forgiveness, the same restoration to relationship with God that Peter experienced. And these ladies who essentially end this book with fear at hearing this incredible message, do meet Jesus personally and tell his disciples that Jesus is alive, and the rest as they say is history. This church and the church around the world is a witness to the testimony of these ladies and of a man named Peter who testified for the rest of their lives about this man, this God/Man Jesus Christ, who rose from dead so we could be free from sin and know the hope of eternal life. I began by saying that the resurrection is what gives each follower of Christ a hope to hold onto and for each human born on this earth, a need to ask to why this is significant. For each human on earth this is significant, because while there are many who claimed to be a Savior, all but 1 are lying in graves. And Jesus's life, death and resurrection changed the lives of all who became his followers. Peter was a fisherman who became a follower who failed and was forgiven. And you are a failure, a sinner, just like he was, but you too can be forgiven. And Christian when you fail remember you're still a follower, you're still forgiven because Jesus Christ died and rose again. Let's pray